

## 第3次総合計画第4期基本計画第1回総合計画審議会議事録

日 時：平成27年7月6日（月） 10:00 ～ 12:15

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員（別添参照）…19名

市長、副市長、総務部長、市民福祉部長、建設経済部長、教育部長、議会事務局長、教育部技監  
総務課長、財政課長、特命プロジェクト担当主幹、特命プロジェクト担当主査補、昭和株式会社、  
企画政策部長、企画課長、企画課副課長、企画係長、企画課主査補、企画課副主査、企画課主事  
補

### 1 開会

（司会 企画課長）

### 2 市長あいさつ

[市長] 上半期では、東金市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」に対する審議をお願いする。また、下半期では、東金市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」を踏まえた第4期基本計画の審議をお願いする。委員の皆様の貴重なご意見をいただき、東金市の未来のため、よりよいプランを作り上げたいと考えている。

### 3 委嘱状交付

（市長より委嘱状を机上に交付させていただいた旨を説明。25名の委嘱を行う。）

### 4 委員紹介

（企画政策部長より選出区分別順に当日出席者の当審議会委員を紹介。）

### 5 会長・副会長の選任について

[委員] 前回の経緯について伺いたい。

[企画課長] 前回の会長は、2号委員である千葉学芸高等学校長の高橋委員。副会長は、3号委員である区長会連合会長の織本委員を選出した。

[委員] 第4期基本計画に加え、地方創生といった大きな課題がある。そのため、提案として、審議会の経緯を熟知しているお二方をお願いしたい。

[企画課長] 前回の基本計画策定から携わっていただいている高橋委員に会長を、商工会議所会頭の古川委員に副会長をお願いしたい。

[全委員] 異議なし

[高橋・古川委員] 了解

（これにより、会長に千葉学芸高等学校長の高橋委員、副会長に商工会議所会頭の古川委員が就任。）

### 6 東金市第3次総合計画第4期基本計画および東金市版「人口ビジョン」、「総合戦略」の諮問について

（市長が会長に諮問書を手渡し、諮問が行われる。）

《諮問書提出の後、市長、副市長退席》

## 7 会長あいさつ

(高橋会長より就任あいさつ後、委員に諮問書の写しを配布。)

## 8 事務局紹介

(企画政策部長より当審議会事務局の紹介。)

## 8 議事

[会長] 議事に先立ち、当審議会における情報公開（議事録の公開及び審議会会議の傍聴）に関する市の規程・関連する制度について事務局に確認したい。

[企画課長] まず「議事録」について、総合計画審議会は、地方自治法第138条の4第3項の規定により設置されている機関であり、東金市情報公開条例第33条第1項第3号の規定に当審議会が保有する議事録等の公表が定められていることから、「議事録」については公開の必要があると考えている。ただし、議事録の作成については、発言者が特定されないかたちで作成したいと考えている。また、審議会の「傍聴」については、進行上の問題（おそらく問題はないと思うが審議中の案件により利害関係が発生）もあるため、事前に傍聴したいという申し出があった場合は会議前に会長に報告し、委員の皆様にお諮りし決定したいと考えている。原則としては、認めるかたちでお願いしたい。

(全委員…反対意見無し)

[会長] 当審議会は、市と市民がともに計画を作り上げる場である。委員各位には、建設的な立場からの発言をお願いしたい。貴重な意見を伺う時間を長くとりたいと考えている。そのため、審議会の場での質疑や答弁は最小限に抑え、質問に対しては後日事務局から回答するという形をとりたい。

### ○(1) 東金市第3次総合計画について

[会長] 議事の(1) 東金市第3次総合計画について事務局より説明をお願いしたい。

(企画係長…東金市第3次総合計画概要版により、総合計画の趣旨、構成、第1期から第3期基本計画の特徴と1期及び2期の結果、第3期の重点施策等を説明。第3期の全体的な総括は、下半期の審議会にて説明することとし、この場では施策分野別の総括にとどめる。)

(意見・質問)

(全委員…意見・質問なし)

### ○(2) まち・ひと・しごと創生（地方創生）について

[会長] 議事の(2) まち・ひと・しごと創生（地方創生）について事務局より説明をお願いしたい。

(企画課副課長…資料2および国の「人口ビジョン」・「総合戦略」概要版により、現在自治体が抱える人口減少や出生率低下、東京圏への人口一極集中といった課題の説明。国は、これらの課題を解消するために、①地方における安定した雇用の創出 ②地方への新しい人の流れをつくる ③若い世代の結婚・子育ての希望を叶える ④時代にあった地域を創る という基本目標を掲げ、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定している。東金市においても「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、地方創生に取り組むということを説明。)

(意見・質問)

(全委員…意見・質問なし)

○(3) 「東金市総合計画」と「地方版総合戦略」の関係について

[会長] 議事の(3)「東金市総合計画」と「地方版総合戦略」の関係について事務局より説明をお願いしたい。

(企画課副課長…東金市第3次総合計画概要版により、東金市総合計画の趣旨、構成を説明。加えて、東金市の最上位の指針であることを説明。また、資料3により、「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」について説明。総合計画は、あらゆる施策を盛り込んだ総花的なもの。一方、総合戦略は、2060年を見据えた人口ビジョンを目指すために、5年間で取り組むべき「しごと」と「ひと」に特化した戦略である。総合戦略に掲載されていない事業は、地方創生に係る交付金や国庫補助の対象にならないとされている。そのため、見落としなく事業を掲載することが重要となるが、その際に市の最上位の指針である総合計画との整合をはかる必要があることを説明。)

(意見・質問)

(全委員…意見・質問なし)

○(4) 市の現状認識及び将来人口の推計・分析について

[会長] 議事の(4)市の現状認識及び将来人口の推計・分析について事務局より説明をお願いしたい。

(企画課副課長…資料4により、東金市において、子どもを産む若い世代の女性が加速度的に減少していることや、若者が都市部へ転出する傾向があることを説明。市長以下事務局側は、出生率を向上させ、社会増を目指し、2060年時点において人口5万人以上を維持したいと考えていることを説明。また、市民アンケートや学生アンケートの結果を加味しながら現実に即した人口推計のラインを描くことを説明。具体的な人口推計については、次回の審議会までに示したいという考えを説明。)

(意見・質問)

[委員] 資料には「2012年に東金市の出生率が1.48まで上昇している」と前向きなことが書かれているが、出生率の上昇だけを見て楽観的に構えていいのか。

[企画課副課長] 全国の出生率も平成18年から8年連続で上昇傾向にある。東金市においても、少しずつ出生率は上昇していると言える。しかし、つい先日、厚生労働省より9年ぶりに出生率が低下したとの発表があった。そのため、さらに具体的な取り組みを考えていかなければならないと認識しているところである。

[委員] 出生数は右肩下がりなのにも関わらず、出生率が上昇しているということは、分母が小さくなっているということ。このような危険な状況なのにも関わらず、出生率が上昇しているという一点を取り上げると、戦略をたてる際に歪みが生じるのではないか。

[企画課長] 出生率の上昇はデータとして事実である。しかし、委員の指摘どおり出生数は減少傾向にあり、楽観できる状況ではないことも事実である。今後は、このようなミスリードがないよう、資料作りを考えていきたい。

[会長] 出生率が上昇したとはいえ、出生率が2.0%を切っている時点で問題である。また、本年4月より東金市から産婦人科が無くなるなど、出生数について楽観できない状況にあることを認識する必要がある。

○(5) 東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の骨子(案)について

[会長] 議事の(5) 東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の骨子(案)について事務局より説明をお願いしたい。

(企画係長…資料5により、東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の骨子(案)を示す。まず、東金市「人口ビジョン」として、東金市の人口の状況分析を説明。また、少子高齢化に対応する社会作りを行うこと、15歳未満の年少人口を増加させること、増加傾向にある出生率を維持すること、子どもを産む年代の女性を増加させること、市内もしくは近隣市町でしごとを創ること、都市部から人の呼び込むという将来展望を説明。さらに、「地方版総合戦略」は「人口ビジョン」を実現する為の指針ということを再び示した。その上で、総合戦略の構成、重要業績評価指数(KPI)について説明。①魅力あるまちをPRしひとを呼び込むための「げんきづくり」②子育てのしやすい環境を整える「みらいづくり」③活気のある都市基盤をせいびするための「まちづくり」④地域に雇用を創出し、労働環境を整備する「しごとづくり」⑤地域間の連携を目指す「きずなづくり」という5つの基本目標を示す。次回審議会では、職員アンケート及び市民アンケート、また、委員からの事業提案を加味し、具体的な事業を加えた形で総合戦略の素案を示す旨を説明。)

(意見・質問)

[会長] 東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の骨子は、資料5のとおりで決定なのか。

[企画係長] 資料5で示しているのはあくまで案である。意見提案を受けた上で修正することは可能。

[会長] 各委員からもそれぞれ意見を伺いたい。

[委員] 出生率が近年上昇傾向にはあるが楽観視せず、子どもを生む世代の女性が減少していることに危機感を持つべき。市内の産婦人科も無くなっている。また、人口の将来展望に向けた分析について、都市部への転出を減らすことに加えて、都市部から人を呼び込むことも重視すべき。これまで40年で、千葉東金道路、城西国際大学、小野山田工業団地、東千葉メディカルセンター、圏央道は東金の発展に貢献してきた。将来への仕掛け・種をいかに残していくか、特に仕事づくりを通じて若い世代を増やすことが重要。

[委員] 総合戦略の骨子案は総花的で、定住、交流、高齢者等の具体的にどんな施策があるのか見えない。

[委員] 東金市オリジナルの取組により他都市との違いを打ち出すべき。日吉台の500~600区画に若手の定住・移住のため若者にも手の届く価格となるように市の財政支援をするのはどうか。

[委員] 具体的な取組が求められる。生活弱者・交通弱者への支援策等を組み入れるべき。

[委員] 市外へ出る理由、何が魅力で東金市に来るのか等を把握して施策に反映すべき。若い人達が働きやすいように子どもを預かる場、元気な高齢者の職場や生きがいとなる場、公民館等を活かしたコミュニケーションの場づくりが必要と考える。

[委員] どう具現化するかが重要。

[委員] 子育て支援、保育の幅を広げて、めいっぱい働ける環境づくりが必要。空き地・廃屋を跡取りが放置しておく状況ではなく、住みやすいまちにするべき。

[委員] 若い人がなぜ子どもを産まなくなるのか考えて対策を検討すべき。若い人は同じ海でも垢抜けた所へ行く。若者に来てもらえるよう具体的な検討が必要。

[委員] 消防団は以前1,000人いたが500人に激減し、地区によっては活動が厳しい所もある。

[委員] 産科が無くなり、大網や山武等を探す状況にあり心配である。子どもに焦点を当てつつ、高齢者がとどまり、多くの人に来てもらえる東金市を望む。

[委員] 市内にあまり仕事がないため、娘は大網白里市へ就職することとなった。他の市町と似た施策で転入数を取り合うよりも近隣市町と連携しながら強みを活かした施策を作って欲しい。

[委員] 独身の方に聞くと生活に満足していると言う人が多く、少子化の要因になっていると思う。住む、仕事、観光など、東金に人を呼び込むことを重点的に取り組むべき。

[委員] 交通の不便さから、娘は大網に住み東京へ通勤している。若い人の就職先となる仕事が無い。若い女性に東金に住んでもらえるようになるとよい。

[委員] 資料の仕分けが複雑なので改善を。基本目標にある英語は分からないので不要ではないか。

[委員] 東金市は農産物が強み。今のみのりの郷はあまりお金が落ちないと思う。東金色を出して特産品づくりを進めるのがよい。新規就農の若い人も来ている。働きながら子育てができる環境が大事。

[委員] 若い人が安心して東金に移り住みたいと思ってもらえることが重要。両親の帰宅時間が遅くても安心できるサービス、子どもが病気でも看護・医療体制があり、働きながら子育てできるような環境づくりを。若い人は情報収集するので、住みやすさの噂づくりがよいのでは。

[委員] 子育て、高齢者への具体策が重要。

[委員] 人口減少が進めば行政サービスも縮小する。他の市町村から選ばれる東金市を目指したい。

[会長] 委員から指摘があった英語標記や資料の表現については、事務局側で調整をお願いしたい。げんきづくり、みらいづくり、まちづくり、しごとづくり、きづなづくりを5つの基本目標に掲げ総合戦略を策定することについて異議はあるか。

[全委員] 異議なし。

[会長] 施策は例示されているが、今回は全て示すように。人口ビジョンについて、「子どもを産む年代の女性を増やす」だけでなく、「子どもを産む年代を増やす」という表現に。また、転出を減らすだけでなく、流入を増やす考え方を入れることを求める。

[委員] 骨子（案）を見ると、数値目標が入っていない。国からは数値目標を設定するよう求められているはずだが、これでいいのか。

[企画係長] 次回審議会で素案を示す際に、重要業績評価指数（KPI）を示したいと考えている。

[委員] 資料5の骨子（案）に数値目標を入れることで骨子が完成するという認識でよいか。

[会長] 骨子には数値目標は必要ないと考える。ただし、素案には数値目標がなければならない。また、事業提案についてアンケートを行っているとのことだが、市民から提案いただけるようHPで意見募集をしてはどうか。

#### ○(6) 策定スケジュールについて

[会長] 議事の(6) 策定スケジュールについて事務局より説明をお願いしたい。

(企画課副課長…資料6により、9月までにあと2回審議会を行うことを説明。事務局側の取り組みとして、地方創生先行型事業の実施、第3期計画の総括、第4期計画に向けた事務事業の洗い出し、市民アンケート、学生アンケート、職員アンケート、人口推計・分析をすでに行っていることの説明。東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」は、8月末に素案確定予定。9月末には、市議会への説明を経て完成としたい旨を説明。時間が限られた中での策定になるため、パブリックコメントは実施しない。また、平成27年度東金市総合計画審議会開催予定により、第2回審議会の日時を説明。

(平成27年8月5日(水))第3回以降の審議会については調整中であり、第4回からは基本計画について審議していただく旨を説明。来年度以降は、年に2回ずつ審議会を開催する予定である。)

(意見・質問)

[委員] 5年前の審議会の会議回数は、今回の回数と同じなのか。

[企画課副課長] 第3期基本計画を策定した審議会は全4回であり、今回の審議会とは異なる。今回の審議会が8回に増えた理由としては、東金市「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定する必要があるためである。

[委員] 地方創生に係る「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」は重要な案件であると考えているが、次回以降の審議会では意見を言い合える時間を設けるのか。事務局側からの押し付けのような会議になってしまわないかを心配している。

[会長] 委員意見に対して市の答弁は必ずしていただく。

[企画課副課長] 本審議会で頂いた意見は、なるべく早くまとめ、第2回審議会よりも前に会議顛末と併せて考えを示す。また、骨子(案)にも意見を反映させた形で示したい。意見の受付に関しては提案書だけでなく、企画課窓口においても対応する。

議事の終了

事務局から事務連絡

9 閉会

以上